

村の考えを問う

一般質問

一般質問とは、議員が村長などの執行機関に対し、45分の持ち時間の中で事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねること、あるいは報告や説明を求めることをいいます。

この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

内容を要約して登壇順(質問順)にお知らせします。

※紙面の都合上掲載できなかった質問もあります。

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7501
長野県東筑摩郡筑北村西条 4195 番地
電話 0263-66-2111
FAX 0263-66-3370

今回の内容

- 3月定例会一般質問他
- 筑北村選挙管理委員会から

11人の議員が発言……3月定例会

登壇順 (質問順)	質問内容	議員名
1	<ol style="list-style-type: none"> 1 新年度予算から見た財政シミュレーションへの影響値について 2 筑北村公共施設等総合管理計画(個別施設計画)の進捗状況について 3 学校環境と教育水準の向上策について 	関川 修次
2	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度主要事業について 2 集落担当制について 3 人口減少対策について 	佐藤 文男
3	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度一般会計予算について 2 コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について 3 個別施設計画における令和3年度更新予算と令和11年度までの予算計画について 4 冠着温泉施設について 5 タイケン学園への体育施設の無料貸付と経済効果について 	勝田 昇
4	<ol style="list-style-type: none"> 1 コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について 2 スマートインター事業の進捗状況 3 県道河鹿沢西条停車場線及び新青木トンネルの状況について 	前山 健治
5	<ol style="list-style-type: none"> 1 新年度財政の健全・安定化策について 2 コロナ禍における地方回帰(村内への移住)について 3 新教育長としての抱負について 4 水道水不足対応と水源確保について 	小山 正博
6	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育行政について 2 情報発信及び防災カメラについて 	中村 弘
7	<ol style="list-style-type: none"> 1 スマートインター・維持管理費用と村活性化について 2 ウェルネス高校の今年度募集人員30人、村長の議会への説明との乖離について 3 村長公約、スポーツによる村の活性化と人口減、転出超過、高校誘致村の整備費返還金、コロナ交付金による野球場ベンチ工事について 4 デマンドバス麻績村への乗り入れについて 5 冠着荘の令和3年度合宿希望の学校について 6 猟友会坂井支部、有害鳥獣捕獲280頭余り、会員の負担軽減及び捕獲許可について 	吉池 昌昭
8	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策の第3次分考え方について 2 集会施設整備補助事業について 3 筑北ひまわり保育園環境整備事業について 	鎌田 欣子
9	<ol style="list-style-type: none"> 1 主要事業について 	太田 守彦
10	<ol style="list-style-type: none"> 1 関川村政の8年間について 	西澤 良美
11	<ol style="list-style-type: none"> 1 長野道の側道の管理について 2 村道、農道の舗装傷みについて 	横山 敬



Q 新年度予算から見た財政シミュレーションへの影響値

A 実質公債費比率への影響は大きくない



関川 修次
議員

質問 令和3年度において今後補正が予想される事業を尋ねる。

村長 一般会計で国の第3次コロナウイルス感染症対策交付金約9,700万円、前年度決算の余剰金処分は財源を確保した上で1億7,400万円を繰上償還に充てたい。

簡易水道特別会計では新たな水源確保の工事費を補正で考えている。

財政シミュレーションへの影響

質問 健全な財政見通しのもと、村民への正確な情報の提供と丁寧な説明は欠かせない。今期予算における財政シミュレーションへの影響の値を尋ねる。

村長 財政シミュレーションと比較で、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)1億6,700万円ほど下回っている。普通建設事業は防災無線、河川改修、村道地滑り改修他で1億7,400万円増えている。全体的には実質公債費比率の影響は大きくないと考える。

筑北村公共施設等総合管理計画(個別設計画)の進捗状況

質問 合併当初から人口規模に合った施設運営が指摘されているが交付税算定替えの特例期間が終了した今でも成果が見えてこない。昨年の3月に個別計画ができたのが現実だ。計画では令和11年度までの10年間の計画の総額が4億1,

080万円見込まれていて、毎年約3億円から4億円の事業費でこの計画を推進する内容だ。令和3年度では3億4,690円が計画計上されているが令和3年度予算での対応の状況を尋ねる。

企画財政課長 筑北村公共施設等総合管理計画は本年度5年毎の見直しの年だ。推進費用については機械的に算出したもので必ずしもこの通りコストが掛かるものではないことは理解願いたい。従って計画通りの予算計上はしていない。3年度は設備修繕、更新費用は計上している。

計画推進の今後の取り組み

質問 予算規模削減のカギとなるこの計画を確実に実行し、村民の理解を得て成果を上げるには、推進する確かな実務組織と、協力する体制が欠かせないと考える。本計画推進の今後の取り組みを尋ねる。

企画財政課長 庁内に施設マネジメント会議を組織して令和7年度までの廃止計画等を検討する。箱もの施設等については民間への譲

渡、指定管理など官民連携の導入を図りその施設ごとに検討が必要と考える。

学校環境改善と教育水準の向上策

質問 令和元年度にまとめた長野県の統計資料で、県下77町村中筑北村は上から4番目に人口の減少率が高く、20代後半から30代にかけての子育て世代の転出者が多いとも指摘されている状況下で、保護者にもっと寄り添うためにも、5年10年を見据えた今後の学校環境の改善と教育水準の向上策をどう考えているか新教育長に尋ねる。

教育長 学校環境について現在文部科学省で新時代の学校施設整備指針を検討中で令和4年3月に改定される。国からの情報をいち早く収集して施設整備に努めたい。村独自の支援員を配置し教育水準の向上に努めている。

質問 今回の小学校の統合に係る保護者の評価の把握は考えているか尋ねる。

教育長 学校統合の評価について

は保護者からの意見等の取り方を検討したい。

Q 令和3年度主要事業
A すべて計画的に実施



佐藤 文男
議員

質問 全職員の情報管理の徹底や対応研修の具体的な内容と実施計画について尋ねる。

総務課長 今後情報化担当者に必要な専門知識の習得、実効性のあるセキュリティ対策ができる人材育成を図るために、引き続き研修等の実施、受講を行う。
又個人情報保護等も、全職員に管理徹底を図っていく。職場配属先では、OJT(※1)のやり方で仕事の中身を把握して貰っている。

質問 新型コロナウイルスワクチン接種の計画、課題を尋ねる。

住民福祉課長 全高齢者分のワクチン接種数量の確保見通しが立たない中、接種の日程が組めないことが、現在の課題だが、計画準備を進めている。



ワクチン保管用冷凍庫

質問 保育園小学校中学校の照明LED化工事の概要を尋ねる。

教育次長 施設機能強化と長寿命化、省エネ化に改修を行う。
保育園は遊戯室除く102基、小学校は体育館除く468基、中学校体育館除く354基となる。工事期間は夏休みを計画中している。

質問 現状の使用電力と削減効果について尋ねる。当初予算では、全部の電力料金は658万。

教育次長 単純計算では、電気代は約半分に、又寿命は約4倍となり、削減効果はある。

集落担当制

質問 集落担当制の活動状況と内容について尋ねる。

総務課長 集落担当制は、自主性、独自性のある地域づくりの支援などにより、円滑な行政運営を図るため職員が各区に出向き、地域の実情や諸課題等行政と区との調整をするために導入している。令和2年度は36回職員が出向いた。今後も検証しながら継続する。

人口減少対策

質問 人口減少が、最近が多い状況が続いているが、今後の人口予測を尋ねる。

村長 村では、令和元年に人口ビジョンの見直しをした。村の地方創生施策の実施、子供の産みやすい、育てやすい環境の維持・創設による出生率の段階的に引き上げ、令和7年出生率1.8程度を目指し、かつ移住者の増加による社会増の実現を目標に、村独自の推計では令和7年は3,919人、令和12年には3,549人です。

質問 減少した原因分析と状況と内容を尋ねる。

村長 出生数が17名に対して、死亡者数が73名で56名減少又社会増減の転入、転出については、今年度2月末現在で、転入者76名、転出者96名で20名減少した。原因分析は、しつかりできていない状況ではないが、転入については、空き家バンクの利用、職場の異動等で、転出は高齢者の施設への入所や就職、進学とされている。今高齢化率は45.2%の状況。

質問 対策状況について尋ねる。

村長 村では、決め細かな子育て支援等各種の対策を進めて来ており、今後も取り組んでいく。又各課等において必要な施策を検討した上で、庁内で情報を共有しているが、全庁横断的な会議は、現段階ではしていない。今後必要に応じて検討をしていきたい。

※1 on-the-job training の略

実際に仕事をしながらの訓練

Q 令和3年度一般会計予算
A 計画どおり実施



勝田 昇
議員

質問 大型に投資した7年間、節目の令和3年度の主要予算を尋ねる。

村長 スマートインター整備事業は、令和4年末供用開始で令和3年度予算、3億554万円、防災体制強化防災広場整備1,354万円、防災行政無線屋外子局1,578万円、災害発生予防河川等改修2,582万円・新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種2,892万円、当初予算説明の各課主要事業に取組んでいきたい。

質問 税込3億円で借りる金が4億円、令和3年、今後も村長が継続して村政を担うのであれば、成果が出るような村政を要望する。

**コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金**

質問 コロナウイルス感染症臨時交付金で、やすらぎ球場の観覧席を新設工事は、交付金対象外経費に当たらないか尋ねる。

総務課長 県、国との疑義調整も終了している。

質問 村民感情として、問題があるような気がするが、高齢化による自動車運転免許返納者に交通補助など検討願いたい。

**個別施設計画における
令和3年度更新予算と
令和11年度までの予算計画**

質問 令和3年度、改築・大改修3億4,800万円、筑北村公共施設マネジメント資料に掲載されている。実行はいつか尋ねる。

企画財政課長 計画はあくまで計画、施設の状態を確認して大規模修繕が必要になればやっていく。

質問 財政調整基金残高30億を毎

年費用4億で割ると7年で基金は枯渇してしまう、どのようなシミュレーションか尋ねる。

企画財政課長 必ず4億円かかるものでもない。

冠着温泉施設

質問 温泉施設運営委員会の答申・提言について尋ねる。

村長 平成19年の委員会提言で坂北荘、冠着荘2年後に再検討を行い、改善が見られなければ施設の休止・廃止を含めて検討とあった。温泉施設運営等検討委員会から意見をいただき、庁内においても横断的に検討を進める。

質問 冠着温泉特別会計で、私学の合宿所（6〜8月）人件費で1,300万円投入している、いつまで続けるのか尋ねる。

村長 ウェルネス高校だけの使用でない。もう一回検討委員会での意見を踏まえて検討したい。

**タイケン学園への体育施設の
無料貸付と経済効果**

質問 タイケン学園誘致の住民説明会で、経済効果の数字的資料を提示して説明したのか尋ねる。

村長 会場において、学校誘致に関して基本協定書や土地建物に関する契約の内容は説明していない。

質問 平成33年（令和2年）経済効果合計1億8,000万円の経済効果がある旨の資料が提出されている。効果が無くても更新したのか尋ねる。

村長 村、タイケン学園双方で大きな問題が無ければ自動的に継続となる。

質問 タイケン学園との協定書見直しについて尋ねる。

村長 3者いずれかから改廃の申入れによる合意がない限り、効力を失わない。

Q コロナウイルス感染症
対応地方創生交付金
A 56事業を実施



前山 健治
議員

質問 交付金について議会全員協議会等で説明を受けて理解はしているが、改めて村に配分された1次・2次・3次までの総額、また、村で実施する主な事業51事業が計画されている中で、実施された事業、また、繰越しされている金額等進捗状況を尋ねる。

村長 この交付金は、コロナウイルスの感染拡大を防止し、住民生活を支援し、地方創生をはかるため地域の実情に応じてきめ細かに必要な事業を実施するものである。当村への交付金は、1次分で6,150万円、2次分で1億9,656万円、3次分で9,742万円、合計3億5548万円である。

総務課長 全部で56事業を実施す

る。主たる事業は、子育て応援給付プレミアム商品券の販売、昨年の4月28日以降の出生児に対して10万円の給付、高齢者インフルエンザワクチンの接種の無料化、温泉施設の無料入浴券の配布などである。また各区への感染対策交付金、非接触型体温計の配布事業、高齢者福祉施設等への支援を6事業、村内事業所への持続化給付金を5事業、また、公共施設、学校、保育園等の感染対策事業として26事業を行っている。進捗状況は、すべての事業が発注済みである。

スマートインター事業の進捗状況

質問 令和2年9月定例会の一般質問でも同じ質問をしたが、令和5年3月の供用開始を目指しているが順調に進んでいるとの答弁であったが、その後の進捗状況を尋ねる。

建設課長 9月議会において説明

したとおり、ネクスコ東日本で進めている詳細設計は、新型コロナウイルス関連で遅れていたが、すでに完了している。現在は、4月の業者決定を待つ状況である。全



SICに伴うR403付替え

体工程には問題がないと理解している。高速本線側の工事については本年4月以降の着手の予定である。

県道新青木トンネルの状況

質問 県道新青木トンネルの進捗状況と県の対応、反応等を尋ねる。

建設課長 県道については、現在大沢地籍の高谷神社付近について地形測量を実施している。

新青木トンネルの状況については、令和3年度中に設計を完了させ、その後用地測量等を行う予定とのことだ。松本建設事務所、上田建設事務所と情報共有して情報収集に努めていく。

Q 新年度財政の健全化・安定化策
A 事業見直し、アウトソーシング(※2)検討



小山 正博
議員

質問 令和3年度予算は、今年度よりは約9,600万円減の41億9,000万円余である。国の示す当村の標準財政規模は、28億8,800万円余であるが、現状の予算額とは大きく離れている。当村は自主財源に乏しく、国の交付税も減少されている。財政健全化策として歳出削減が重要であるが、その一つとして人件費の削減について尋ねる。

村長 一般会計予算と標準財政規模は違うものだ。予算額は、当該年度における福祉向上のための経常的・投資的経費、公債費など全ての事業の積算である。標準財政規模とは、標準的な状態で通常収入される経常的な一般財源のこと

ある。人件費の削減は、当村でも真っ先に検討すべき問題だが、人員の増減に最も左右され、現在のきめ細かいサービスを維持するためには、人員減は考えられないが、業務を見直し専門的業務はアウトソーシングを検討したい。(今年度一般職員、80名会計年度任用職員153名の予定)

※2 業務の外部委託

コロナ禍における地方回帰(村内への移住)

質問 新型コロナウイルス感染症拡大が続く中で、地方回帰の流れに手ごたえの新聞報道があり当村の状況と2地域居住受入対応を尋ねる。

企画財政課長 空き家バンクの契約数は2月末で過去最多の16件、22名の方が移住した。コロナ禍での地方回帰の流れだと認識している。全国2地域居住等推進協議会にも登録し、今後も相談等の対応をする。

新教育長としての抱負

質問 今後進めていく重点目標と課題を尋ねる。

教育長 任期中の重点目標は、統合した筑北小学校と新生聖南中学校の安定的な運営である。1年が経過し軌道に乗り、安定的な学校経営ができていくが、この3月からGIGAスクール(※3)によるICT教育(※4)も本格的に始動する中で、支援員の確保等のサポートに重点をおく。課題は、少子化に加え子供がスクールバス通学により、地域で子供を見る機会が少なくなり、住民が子供や学校に無関心になることを懸念する。応援団の活動が子供達を育むきっかけになればと考える。

水道水不足対応と水源確保

質問 村長公約で水源確保が実施されたと認識していたが、1月より節水協力の放送が毎日あるのが現状と見通しを尋ねる。

村長 年末から給水エリアを調整して対応し、断水までの状況では

ない。取水量と給水量が同等のため、僅かな漏水でもダメージが大となるので注意喚起と漏水情報収集のための放送をした。

※3 児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想

※4 パソコンや電子黒板、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育

を一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想

※4 パソコンや電子黒板、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育

Q 教育行政 今後の重点目標

A 全力で取り組む



中村 弘 議員

質問 新教育長に今後の重点目標を尋ねる。

①教育長として任期3年の中で進める幼児教育、学校教育、社会教育

について具体的な重点事業や方針

②幼児期教育・保育推進検討委員会の内容をどのように現場保育士に伝え、質の高い保育につなげていくか。

教育長

①幼児期教育は、幼児期教育・保育推進検討委員会が村ならではの一貫性のある子育て支援・教育について検討中である。現在行っている「やまほいく」「運動あそび」「英語とともだち」「2園の交流」により、子ども主体の保育を推進する。学校教育では、一人ひとりにタブレットが貸与された。ICTを活用した教育の推進に力を注ぎたい。社会教育、生涯学習については、新しい生活様式のもとで何ができるかを考え、早期の事業の再開に取り組む。学校や生涯学習の現場に足を運び、住民や子どもたちの声を聞き現状を把握して全力で取り組んでいきたい。

②幼児期教育・保育推進検討委員会には、園長他保育士が2〜3名参加して直接外部の声を聴く機会となっている。また、保育力の向上と開かれた保育園づくりの推進に第3者評価委員会を年3回開催している。考える保育に姿が変

わってきていると、評価を受けている。どの職員がどこへ異動しても同じ保育が提供できる組織としての体制づくりをめざし、保育園経営の改善に努めていく。

質問 ウェルネス高校の誘致により、公式野球部を軸としたスポーツで元気にしている村として周知されている。新型コロナウイルス対策で実施される球場の感染対策事業により、安心して応援できると多くの声を聴く。

情報発信 防災カメラ

質問 情報発信の必要性に対し①村のホームページはどのように管理し、更新しているか、今後の対応について。②新聞社に対しどのように発信しているか。③防災カメラ(特に差切峡は竹やぶしかみえない)の役割を村民に情報発信し、活用を図るべきで、対応策を尋ねる。

総務課長 平成28年に更新し、公式サイト、観光情報、学校・保育園サイト、図書館サイトの4つのサイトで管理。現在の新規投稿、修正及び削除は各課で管理者を決め

ているが、古い投稿等もあるので、総務課で包括管理を検討している。②「記事」という形で村のPRをして、タイムリーな情報提供を実施していく。③災害発生時、特に大雨に対し河川・道路情報をリアルタイムで把握することを目的に設置されている。場所の変更、廃止撤去等管理したい。

**Q スマートインター維持
管理費用**

A 村負担100万円



吉池 昌昭
議員

質問 スマートインター令和4年度未完成、維持管理費用は、一日700台の利用がなくても同じか尋ねる。

建設課長 現在のところ計画時の試算で、ネクスコ負担分900万円、村負担分100万円、今後変更も考えられる、700台の利用が

なくても、負担金の増減はないが、舗装修繕など変更も考えられる。

質問 村民から村の負担が多いのではないかと疑問があり、100万円の負担を再確認した。

ウェルネス高校募集人員

質問 ウェルネス高校募集人員30人という新聞報道と、9月議会での村長発言の当初計画80人との食い違いについて尋ねる。

村長 定員は各学年最大80名総数240名、この定員は教室の状況により決定、現在生徒数合計87名、生徒の確保には苦慮していると聞いている。

質問 県内枠が30人という答弁だった。村は多額のお金を学校にかけている。生徒数が87名は3分の1しか集まっていない。経済効果も違ってくる。計画時の生徒数を確保できないか。

転出者が多い状況

質問 村長はスポーツによる村の

活性化というが、転出者が多い状況をどのように考えるか。

村長 「子育ては筑北村」ということでやっているが、それぞれの事情で転出していると考ええる。

高校誘致に関わる借入金

質問 高校誘致に関わる借入金の元利償還、返済期間を尋ねる。

企画財政課長 平成28年野球場防球ネット合併特例債1,020万円、3年度償還金は約129万円。償還期限は令和9年3月までである。

質問 1億4千万円余りかけている中で、合併特例交付金、合併による不均衡解消の交付金、私立高校関連へ使うことにも疑問を感じる。

やすらぎ野球場の改修

質問 やすらぎ野球場観覧ベンチ、フェンス修繕をコロナ感染交付金で専決、議会に対して十分な説明がないまま専決処分したことについて尋ねる。

村長 高校野球もできる球場、理解をいただきたい。

デマンドバス麻績村への乗入れ

質問 デマンドバス麻績村への乗入れについて尋ねる。(3回目
の質問)

総務課長 民業の圧迫はできない、麻績村との協議など、まだできていない。



デマンドバス

冠着荘合宿希望の学校

質問 冠着荘合宿希望の学校について尋ねる。

観光課長 1泊ずつ3件90人の予約がある。

質問 1泊が合宿か疑問だ。

猟友会会員の負担軽減のための機器の貸与

質問 猟友会坂井支部、4月からの捕獲280頭、会員の見回り負担の軽減機器の貸与について尋ねる。

産業課長 松本広域鳥獣被害防止総合対策協議会の意見等確認しながら検討する。

カワウ、サギの被害

質問 カワウ、サギの被害、捕獲許可について尋ねる。

産業課長 捕獲許可は、県の許可である。現在アンケートを実施している。状況により検討したい。

Q 新型コロナウイルス感染症対策 第3次分の使い方
A 村民のため有意義に活用



鎌田 欣子
議員

質問 今まで1次・2次の中で小学校、中学校、のトイレ等についても充当されたと考える。そこで第3次新型コロナウイルス感染症対策交付金の使い方、対策について村長に尋ねる。

村長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は国の第2次補正分までで、56事業の予定があり、2億8,292万円を実施した。国の第3次交付限度額は9,742万1千円である。現在取りまとめ中である。村民にもう少し我慢をしていただき、感染予防の徹底を持続して意識してほしい。村民への直接給付や地域経済の底上げも重要な施策と考える。村民のために有意義な活用をしていきたい。

質問 庁舎の入り口に体温計と、除菌機（手を差し出せば除菌される）が一緒になったものが3万から4万円程度で販売されている。公共の場所での設置をお願いする。

集会施設の整備補助事業

質問 総務課の主要事業の中に湯戸坂口常会に約233万円の補助事業がある。補助内容の説明をたずねる。

総務課長 集会所・公民館の新設増築、改修に対して補助率を事業費の2分の1として、上限



湯戸坂口公民館

250万円の補助金を交付する。

質問 湯戸坂口の常会長を尋ねたところ、外壁・屋根・畳を取り除きフローリング・机を高くする・防災グッズの置き場所をつくる。このように湯戸坂口常会では自分たちで集会所を直す。村の集会所・公民館について調査したが、坂井地区の集会施設が昭和の43年から45年ころの古い建物が多い。そこで、主要事業の指定避難所、公民館耐震化がある。今年は別所、令和4年度は下安坂公民館、令和5年度は松場公民館とあるが1,250万円の施策である。これを見直しの方向はないか尋ねる。

ひまわり保育園の環境整備

質問 ひまわり保育園の駐車場にある合併浄化槽（保育園と住宅分）の悪臭がひどいと感じるが対策はないか。村営住宅の駐車場は移動できないか尋ねる。

教育次長 年4回の定期的に浄化槽の保守点検をしている。コロナ禍で通常の年よりも多めにおこなっている。改修ではなく適正検査に努めていく。

建設課長 駐車場に関しては、次期入居者のタイミングで、新たな駐車スペースを考慮していきたい。

**令和3年度主要事業
A 計画的に進める**



太田 守彦
議員

質問 当初予算説明資料に記載はないが「更なる女性参画」は重要な取り組みではないか。

総務課長 令和2年度まで第2次男女共同参画計画により、行政においても性別にこだわらない社会の実現を目標としてきた。

新規採用職員の女性枠

質問 「女性議員を増やすために」というテーマで議員懇談会を開いた。村の委員会において女性の参加を促せば議員のハードルが下がるという意見は参考になった。また、新規採用職員にも女性枠があるのか尋ねる。

総務課長 各種委員会は男女関係なく組織構成している。職員採用も同様に、性別は設けていない。

脱炭素環境改善に向けた取り組み

質問 太陽光発電の補助額が20万円増額となった。脱炭素・環境改善に向けた取り組みを尋ねる。

住民福祉課長 更なる温室効果ガスを減らすため、再生可能エネルギーに関する調査を進めたい。

質問 政府方針への所感を尋ねる。

村長 バイオマスボイラーをと

くりに設置したが、企業には再生可能エネルギーの推進、住民へは食品ロスの削減を呼びかけるなど、協力を求めながら対策を図る。

質問 緊急危険木伐倒事業について、場所、時期、業者を尋ねる。

産業課長 主要道路沿いの枯損木による事故や停電が起きている。区要望と併せて、台風シーズン前には実施したい。なお、委託先は林業事業体を予定する。

質問 雪や強風で木が倒れ停電となるケースが頻発している。また、長期的な視点で考えると、林業の協力隊を強化すべきではないか。

産業課長 森林の管理は、所有者の自己管理が原則である。危険



道路沿い危険木

木は急斜面も多く、人力以外に機械整備も必要となる。村の施策など森林体制について検討する。

誘致企業への支援策

質問 「企業誘致を積極的に図るための支援策」は、主要事業でありながら、予算計上がない。

観光課長 当村へ企業立地できる環境は整いつつある。しかし、企業様からの相談体制ができていない。企業誘致は、雇用の創出、人口減少の歯止め、地域経済の活性化のために重要であり、予算とは別に、主要事業として取り組む。

質問 事業実施について、外部コンサルタントへの委託が想定される。今まで中央のコンサル業者へ委託する傾向があった。当村の実態に精通したコンサル業者を選定していただきたい。

質問 「新しい生活様式のもとで、参加しやすい環境を整備する」とはどう実現するのか。

教育次長 3密を回避した会場

の設定など感染防止対策を行って開催する。また、各家庭からのリモート参加も検討したい。

Q 関川村政の8年間
A 公約に基づき進めた



西澤 良美
議員

質問 2期8年の期間もあと6カ月ほどで終わるが、8年間でできたこと、あるいは心残りだったことはあるか。

村長 8年を振り返り返り村民との約束は6項目あった。その中の麻績村との合併は全く進んでいないのが現実だ。残りの5項目の安定した水資源確保、荒れた農地対策、若者定住対策、住民福祉対策、学校、保育園の統合については行ってきたがすべて終了したとは思っていない。心残りには、保育園、小・中学校の給食センターを現在の聖南中学校に増設

して作る政策を掲げていたが、統合を優先したため坂井小学校に1億8,975万円をかけて作った。村内4つの給食等をセンター化して、維持管理費削減等の政策であったが、非常にその辺が心残りに思っている。

Q 長野道の側道の管理
A 担当課で実施



横山 敬
議員

質問 長野道の側道の草刈り等の今後の管理について尋ねる。

建設課長 小仁熊地籍の道路については、業者委託も住民での草刈りはされていない。ただし小仁熊ダム周辺の草刈り等、産業課、観光課、建設課で年1回行って

村道・農道の傷み

質問 村道・農道の傷みについて尋ねる。

建設課長 村道の傷みについて職員が道路パトロール、専らのパトロールということができいないので外出した折に気づいたところを都度補修していくという状況である。大規模な補修等については、地元要望等を参考に予算の範囲で計画的に行いたい。

産業課長 建設課同様パトロール等を行っている。



傷んだ農道

令和3年3月定例会審議内容

1. 賛否の別れた議案（○は賛成、×は反対）

件名	各議員の賛否											議決の結果
	太田	西澤	横山	関川	佐藤	勝田	前山	小山	中村	吉池	鎌田	
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度 筑北村 一般会計補正予算(第8号))	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度 筑北村とくら温泉施設 特別会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度 筑北村差切峡温泉施設 特別会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度 筑北村冠着温泉施設 特別会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
令和3年度 筑北村 一般会計予算	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	可決
令和3年度 筑北村 とくら温泉施設特別会計予算	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	可決
令和3年度 筑北村 差切峡温泉施設特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度 筑北村 冠着温泉施設特別会計予算	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	可決

2. 全会一致で可決された議案等

件名	議決の結果
令和3年度筑北村一般会計予算	可決
令和3年度筑北村バス事業特別会計予算	//
令和3年度筑北村国民健康保険特別会計予算	//
令和3年度筑北村国民健康保険診療所特別会計予算	//
令和3年度筑北村後期高齢者医療特別会計予算	//
令和3年度筑北村介護保険特別会計予算	//
令和3年度筑北村宅地造成事業特別会計予算	//

件 名	議決の結果
令和3年度筑北村簡易水道事業特別会計予算	可決
令和3年度筑北村集落排水事業特別会計予算	//
令和3年度筑北村合併浄化槽事業特別会計予算	//
令和2年度筑北村一般会計補正予算（第9号）	//
令和2年度筑北村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	//
令和2年度筑北村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	//
令和2年度筑北村介護保険特別会計補正予算（第3号）	//
令和2年度筑北村宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）	//
令和2年度筑北村とくら温泉施設特別会計補正予算（第7号）	//
令和2年度筑北村差切峡温泉施設特別会計補正予算（第6号）	//
令和2年度筑北村冠着温泉施設特別会計補正予算（第7号）	//
令和2年度筑北村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	//
令和2年度筑北村集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	//
令和2年度筑北村合併浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）	//
筑北村体育施設設置条例の一部を改正する条例について	//
筑北村一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	//
筑北村村道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例について	//
筑北村介護保険条例の一部を改正する条例について	//
筑北村指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	//
筑北村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	//
筑北村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	//
筑北村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	//
土地の交換について	//

3. 諮問

件 名
<p>人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ※「適任」の意見を付し村長に答申しました。</p>

お詫び

議会中継中に音声途切れる事象が発生しました。申し訳ありませんでした。

令和3年4月25日執行 参議院長野県選出議員補欠選挙

1. 開票結果

	1 小松 ゆたか	2 羽田 次郎	3 神谷 幸太郎
筑北村	889	1,149	42

区分	有効投票数	無効投票数	投票総数	持帰りその他
筑北村	2,080	24	2,104	0

2. 投票の状況

(1) 投票者数と投票率

	選挙当日の 有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)
男	1,902	1,063	839	55.89
女	1,965	1,041	924	52.98
計	3,867	2,104	1,763	54.41

(2) 投票者の動向

	投票者数 (人)
期日前投票所	1,040
うち移動投票所	45
選挙当日の投票所	1,057
不在者投票	7

～ コロナ禍での選挙 ～

新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威をふるい、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。このような状況下ですが、「**選挙は、**住民の代表を決める民主主義の根幹をなすものであり、任期が到来すれば、決められたルールの下で次の代表を選ぶというのが民主主義の大原則であって、**不要不急の外出には当たらない**」との見解が示されています。

今年は、これから国政選挙や村の選挙を控えています。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を行いながら選挙の執行に努めていきます。



記載台も間隔をあけて設置

「移動期日前投票所」を開設しました

今回の参議院長野県選出議員補欠選挙において、初めての試みとして「移動期日前投票所」を実施しました。今回の選挙から投票区が変更になったことに伴い、以前投票所が設置されていた「大沢・乱橋・別所・上安坂」の4か所を回り実施しました。

当日は、合計で45人の投票がありました。



乱橋活性化施設みなくる館
駐車場での様子

別所公民館駐車場での様子



投票所の施設名称と位置 ～投票の際は、お間違えなく～

	施設名称	所在地	備考
第11投票所 期日前投票所(本城)	本城農村環境 改善センター	西条4195番地	役場庁舎に併設
第21投票所 期日前投票所(坂北)	坂北総合 福祉センター	坂北2183番地1	図書館東隣
第22投票所	仁熊公民館	坂北7697番地	
第31投票所 期日前投票所(坂井)	筑北村公民館	坂井5711番地1	坂井にある公民館で正式名称 が「筑北村公民館」です。